



武田将季 Masaki TAKEDA

助教 Assistant Professor

博士 (図書館情報学) Ph.D.

Keywords: 超高齢社会サービス, ユニバーサルサービス, 情報リテラシー

Contact: masakita@slis.tsukuba.ac.jp



筑波大学  
University of Tsukuba

Graduate School of Library, Information and Media Studies

www.slis.tsukuba.ac.jp

## 研究概要

現代は、情報社会と呼ばれ、あらゆる情報が地理的制約、時間的制約を超えて簡単に入手することが可能になっています。一方で、溢れる情報の中から目的とする情報を探すこと、探し出した情報を評価することが、以前よりも求められるようになり、それによって困難を抱えている人がいるのもまた事実です。

このような現状に対して、ユニバーサルな情報環境の構築を目指し、情報源の構造的な提示、そして、それらが情報源の選択や行為者に対して与える影響を研究しています。特に、認知

や心理、行動を定量的に分析、モデル化することで評価しています。研究手法としては社会調査や実験を実施し、統計的解析を行います。この時、結果を精緻に解釈するために行動データの分析やインタビューを行うことがあります。

現在は、1) 公共図書館における高齢者に向けたユニバーサルサービスの実現に向けた高齢者の認知や心理、行動の解明から、2) 高齢学習者の情報リテラシーに依存しないオンライン生涯学習環境の構築と実践、の2つの研究に取り組んでいます。

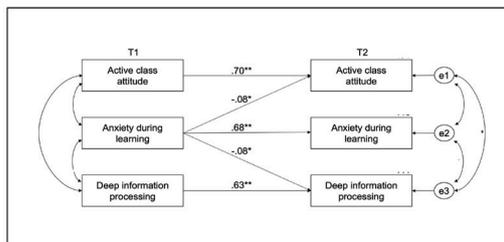


図1.オンラインでの学習による不安が学習の主体性に与える影響 (交差遅延効果モデルによる評価; イメージ図)

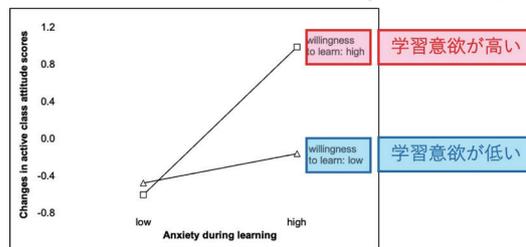


図2.学習意欲による学習時の不安および学習の主体性の調整



図3.Webの情報提示と探索者の負荷に関する実験

## 論文

- 1) Masaki Takeda. Analysis of Information Behaviour and Learning Behaviour Based on Cognitive Process: Toward a Universal Information Service and Society. The 10th Asia-Pacific Conference on Library & Information Education & Practice, 161~172, 2021.10
- 2) Masaki Nagata, Masaki Takeda. Information Literacy and Acceptance in Online Learning by Analysis Focusing on Learning Effectiveness: What is Universal Design for Online Learning? The 10th Asia-Pacific Conference on Library & Information Education & Practice, 208~218, 2021.10
- 3) 武田将季. キュレーションされた情報の利用に関する研究: 瞬目解析に基づく情報処理の分析. 日本図書館情報学会誌, 65 巻, 67~83, 2019.6
- 4) H 武田将季. キュレーションされた情報の利用に関する研究: 脳波解析に基づいて. 日本図書館情報学会誌, 63 巻, 196~210, 2017.12
- 5) H Masaki Takeda, Mamiko Matsubayashi, Atsushi Toshimori. Understanding Undergraduate Students' Information Practices in Collaborative Work in Face-to-Face and Online Settings. The 7th Asia-Pacific Conference on Library & Information Education & Practice, 237~248, 2016.11

## 社会貢献活動

静岡県袋井市「FOL(Fukuroi Online Laboratory) 整備事業」および「オンライン教育基盤を利用した市民参加型インクルーシブ教育の展開」に参画し、市民自らが実践可能な参加型オンライン教育基盤の提案・構築、ディサビリティを抱えている人に向けた教育コンテンツ等を充実させるための方針策定に関わりました。その他、研究活動で得られた成果は、論文や調査報告としてまとめ、機関リポジトリ等を通じて積極的に公開しています。

## メッセージ

「すべての人が、等しく、必要な情報にアクセスすることができる環境」は、社会を構成する一人一人のよりよい生活、今日の社会の根幹をなす民主主義の実現に欠かせないものです。公共図書館やWebに関わる人やサービスをフィールドに、高齢者やディサビリティを抱えた人、情報探索に困難を抱える人、それを支える人にとってやさしい情報環境について考え、実践してみたい方は、ぜひ力を貸してください。